



“桜咲く”合格発表

3月21日(金)、「入学者後期選抜」の合格発表がありました。8時30分の合格発表時間前には、すでに多くの受験生や保護者が緊張した面持ちで、いまかいまかと正面玄関に集まっていました。そして、8時30分の発表の瞬間、「よかった～!」「あった!!」などの歓喜の声や友達と抱き合う姿、そして涙を流して喜ぶ保護者など、これまでの苦労が報われた様子でした。

普通科は2名の校長裁量合格者を含め202名、理数科は前期合格者28名を除いた12名、計214名の合格者がありました。この喜びを忘れずに、4月5日の入学式に臨み、そして入学後の本校での様々な活動のエネルギー源としてもらいたいと願っています。

4月5日(土)の入学式、4月7日(月)の対面式などを経ながら、4月10日(木)から新入生はいよいよ授業が始まります。



“東大・宇野ゼミ×1学年”

先日、東大で最も人気があるゼミ(受講生500名)を担当している教養学部の宇野健司先生をお招きし、1年生を対象とした“宇野ゼミ”を実施していただきました。小体育館に1学年すべての生徒が机と椅子を持ち込み、3人1組に分かれて、コミュニケーション力を高めるアクティブラーニング方式の模擬授業を行いました。

最初はグループごと表面的な会話でしたが、宇野先生のテンポ良い、また温かみのある厳しい指導?により、生徒の表情や会場の雰囲気もがらりと変わり、生徒同士がより主体的に対話し、また自信を持って発言する姿になりました。短時間でここまで変わるのかと驚かされました。宇野ゼミを体感でき生徒のモチベーションも大いに高まったと思います。

また、大学入学後の交換留学のメリットについても、分かりやすく説明してもらい、関心を持った生徒が多かったようです。(これで全員が東大を目指す気持ちになったかは不明です)

